

I.P.S. Doc. No. 3352A

Exhibit No.

朝日新聞

一九四〇年八月二十九日の抜萃

新体制初準備會開く

座長に末次大將指名

國民侍望の新体制理念。近衛聲明は二六日午後二時新体制第一回準備會。開會を待って近衛内閣總理大臣の名を以て中外に發表せしむ。この日委員長は、近衛首相を怡め全閣僚、民間代表三五委員、常任幹事六氏は相前にし、首相官邸に参集。官邸二階大広間。会場には近衛首相を中心に特に自由討議への心遣ひから席の配置にも固まらず形式を避り國民集議體制を産み出すに相應し、雰圍氣が早く見られる。出席者は、

【政府側】近衛首相は、全閣僚、河瀬法制局長官、島田書記官長、ほか関係官

【民間側】

後藤文夫、有馬頼寧伯、井田熊彌、堀切善次郎、太田耕造、永井柳太郎、前田米藏、岡田忠彦、小川郷太郎、金光庸夫、秋田清、麻生久、平賀讓、井坂孝、八田嘉明、白鳥敏夫、末次信、橋本欣三郎、中野正剛、島生能久、岡崎勉、古野伊之助、高石長三郎、正力松太郎、緒方竹虎、三五委員（大河内正敏子は旅行缺席）及び幹事後藤隆之助氏。

辭

I.P.S. Doc. No. 3352A

定刻午後三時開会傍頭本員長近衛首相は草
稿を前に「史的声明」を述べて開会の挨拶に代へ
たが、首相はさう中に於て時難克服のためには強力
なる國民組織の樹立による眞實体制確立の急務
なる所以を力強く論述し、その具体化に對し準備
会の衷心の協力を要請した。
次に議事進行のため首相より當日座長として、末次大
將を指名し、末次大將座長席に於て議事に入つた。
即ち準備本員から活潑な質疑が行はれ、之に
應へて近衛首相並に常任幹事 富田書記官長等
から説明あり、かく一回会合に於ては声明に盛
らふ新体制理念の闡明を中心に眞摯な論議
が展開された。